

勝山市の当初予算

予算総額は191億7,746万円

会計名	令和3年度	令和2年度	増減率
一般会計	113億8,700万円	116億8,000万円	-2.5%
特別会計	69億9,756万円	67億3,300万円	3.9%
企業会計	7億9,290万円	8億2,703万円	-4.1%
合計	191億7,746万円	192億4,003万円	-0.3%

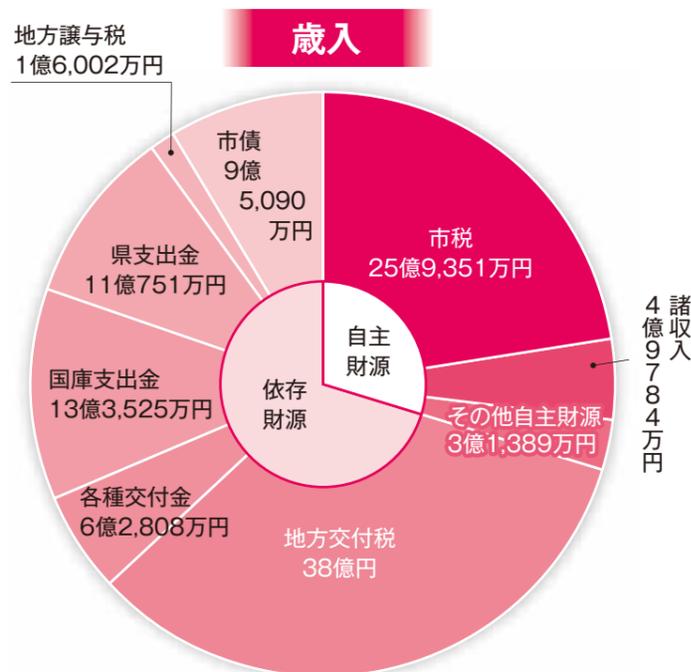


勝山市長 水上 実喜夫

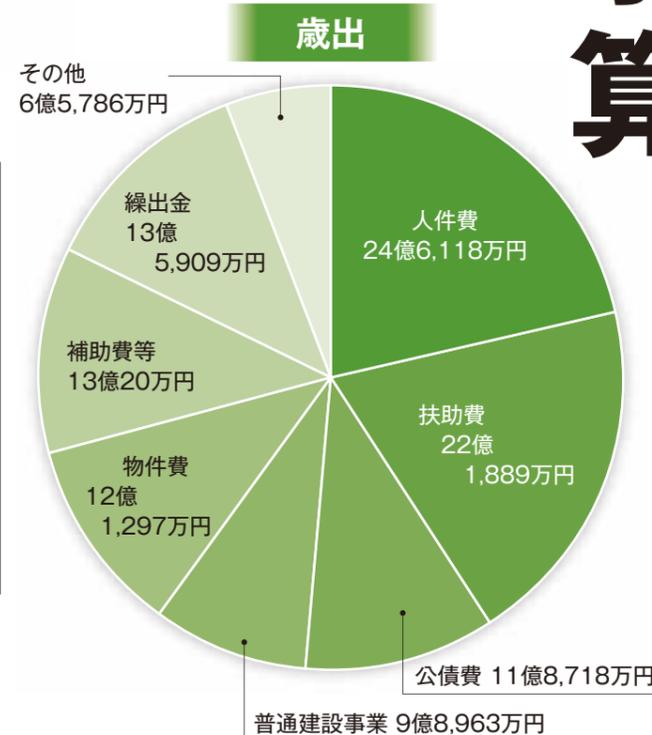
安心・うれしい・みんなの笑顔あふれる
新しい勝山づくりへ挑戦！

令和3年度の当初予算は、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期し、大切な勝山市民の命を守り育てる予算編成としました。
コロナ禍の厳しい状況が市民生活や経済活動に及ぼす影響が長期化する中、きめ細かな支援を行うことで、市民の暮らしと地域経済を支えていきます。
また、雪害をはじめとする様々な危機を克服し、市民の安定した暮らしを守り続け、安全安心を形成していきます。
そのほか、ポストコロナに向け、人や企業に選ばれる勝山市を形成していくため、勝山市の魅力を発信

一般会計



用語解説 (歳入)
市税 市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税など
諸収入 貸付金戻入や団体などからの助成金
地方交付税 自治体の財政力に応じて国から配分されるお金
各種交付金 県が徴収した税の一部が交付される地方消費税交付金など
国庫支出金 市の事業に対し、国から交付されるお金
県支出金 市の事業に対し、県から交付されるお金
地方譲与税 本来地方税とすべきものをいったん国が徴収し譲与するお金
市債 国や金融機関などから借り入れるお金



用語解説 (歳出)
人件費 職員給与などの経費
扶助費 生活保護、高齢者・障害者・児童福祉などの経費
公債費 市が借り入れたお金の返済に充てる経費
普通建設事業 道路など建設にかかる経費
物件費 物品の購入、業務委託などの経費
補助費等 一部事務組合への負担金、各種団体への補助金などの経費
繰出金 特別会計に支出する経費など

1月・3月補正を含めた15か月予算として編成
 1月・3月補正を含めた15か月予算として編成
 1月・3月補正を含めた15か月予算として編成
 1月・3月補正を含めた15か月予算として編成

1月・3月補正で計上した、国の経済対策関連事業と市単独の新型コロナウイルス感染症対応地域経済対策を、当初予算と一体的に編成した15か月予算とすることで、年度の切れ目なく執行しています。
 1月・3月補正を含めた15か月予算額は、前年度当初比1億6百万円増の117億8千6百万円となります。

【歳入の概要】

市民税と固定資産税は、新型コロナウイルス感染症による影響から減額となる見込みです。また、地方交付税(臨時財政対策債を含む)は、令和2年国勢調査人口に測定単位

【歳出の概要】

職員数の減員や、人事院勧告による期末手当の減額などにより、人件費は減額となりました。
 また、扶助費は給付対象の拡大よりも少子化の影響が大きく、全体では減額となりました。
 普通建設事業費は、新たに道の駅の駐車場拡張工事、市宮庭球場改修工事、温泉センター水芭蕉の源泉掘削工事(令和3~5年度継続)などを行います。全体では減額となりました。

特別会計

特別会計名	予算額	増減比
育英資金会計	5,138万円	50.4%
下水道事業会計	10億6,126万円	14.6%
農業集落排水事業会計	1億7,408万円	-1.2%
国民健康保険会計	24億2,614万円	1.5%
後期高齢者医療会計	3億5,371万円	8.4%
介護保険会計保険事業勘定	28億6,226万円	1.4%
介護保険会計介護サービス事業勘定	870万円	2.4%
市有林造成事業会計	6,004万円	19.7%

企業会計

企業会計名	予算額	増減比
水道事業会計	7億9,290万円	-4.1%

